

# スマイルV 1部昇格



第1ピリオドに先制し、喜ぶ日本選手たち。20日、オーストリア・グラーツ(時事)

## 世界女子アイスホッケー 小野、志賀が貢献

【グラーツ(オーストリア)時事】アイスホッケー女子の世界選手権ディビジョン1A(2部相当)は20日、オーストリアのグラーツで行われた。日本はオーストリアに4-1で快勝して開幕4連勝とし、勝ち点12で最終戦を残して優勝を決めた。来季は1部に復帰する。オーストリアは初黒星。

平昌五輪出場を決めている世界ランキング7位の日本は同11位の相手を序盤から攻め立て、第1ピリオドに久保英恵(西武)が2得点。その後も着実に加点し、相手の反撃を1点に抑えた。日本は最終日の21日にフランスと対戦する。

FW小野粧子(フルタイムシステム御影グレッズ)はシュート1本を放ち、DF志賀葵(帯広レディース、帯広三条高3年)は守備でチームの勝利に貢献した。GK近藤真衣(フルタイムシステム御影グレッズ)は出場しなかった。